

作成日 2015 年 4 月 1 日
改訂日 2021 年 10 月 29 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 CMV 抗原テスト「FR」
 構成試薬 : 「内因性ペルオキシダーゼ不活化液 A」
 : 「内因性ペルオキシダーゼ不活化液 B」
 : 「酵素標識抗体液」
 : 「発色剤」
 : 「基質液」
 : 「カウンター染色液」
 : 「封入液」
 : 「洗浄用緩衝液用剤」
 製品コード 140062
 会社名 富士レビオ株式会社
 住所 東京都新宿区西新宿 2-1-1
 担当部署 お客様コールセンター
 電話番号 0120-292-832
 FAX 番号 03-5781-3764
 緊急連絡電話番号 0120-292-832
 推奨用途と使用上の制限 体外診断用医薬品

2. 危険有害性の要約

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液 A」

成分(危険有害物質): 過酸化水素 (30%)

GHS 分類

物理化学的危険性:	酸化性液体	区分 2
健康に対する有害性:	急性毒性 (経口)	区分 4
	急性毒性 (経皮)	区分 4
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分 3
	急性毒性 (吸入: ミスト)	区分 4
	皮膚腐食性・刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
	発がん性	区分 2
環境に対する有害性:	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分 1 (呼吸器)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器)
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報：火災助長のおそれ；酸化性物質
 飲み込むと有害
 皮膚に接触すると有害
 吸入すると有毒
 重篤な皮膚の葉傷・眼の損傷
 発がんのおそれの疑い
 臓器の障害(呼吸器)
 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（呼吸器）
 水生生物に毒性

注意書き：

- 【安全対策】** 熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること。禁煙。
 衣類および可燃物から遠ざけること。
 取扱い後は手などをよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 換気の良い場所でのみ使用すること。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 【応急措置】** 火災の場合：消火するために二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用すること。
 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水（またはシャワー）で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：直ちに医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- 【保管】** 施錠して保管すること。
- 【廃棄】** 内容物や容器を廃棄する場合は、地方/国の規制に従って廃棄すること。

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液B」

成分(危険有害物質):アジ化ナトリウム (15%)

GHS分類

健康に対する有害性：急性毒性（経口）	区分3
急性毒性（経皮）	区分2
急性毒性（吸入）	区分3
皮膚腐食性・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）区分1
（心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）区分1
（中枢神経系、心血管系、肺）
環境に対する有害性：水生環境急性有害性 区分2
水生環境慢性有害性 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：飲みこむと有毒

皮膚に接触すると生命に危険

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性の障害

長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系、心血管系、肺の障害

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き：

【安全対策】取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

眼、皮膚、または衣類に付けないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水（またはシャワー）で洗うこと。

汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：ただちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

漏出物を回収すること

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： 体外診断用医薬品

成分及び含有量

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液A」

成分（危険有害物質）： 過酸化水素（Hydrogen peroxide）

化学特性（化学式等）： H_2O_2

分子量： 34.01

CAS RN： 7722-84-1

濃度又は濃度範囲： 30%

官報公示整理番号（化審法）：(1)-419

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液B」

成分（危険有害物質）： アジ化ナトリウム（Sodium azide）

化学特性（化学式等）： NaN_3

分子量： 65.02

CAS RN： 26628-22-8

濃度又は濃度範囲： 15%

官報公示整理番号（化審法）：(1)-482

4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。
呼吸器に関する症状が出た場合には医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水噴霧、対アルコール性泡消火剤、乾燥砂類。
周辺の条件に適した消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤： 棒状放水、炭酸ガス、粉末消火剤、ハロゲン化物
- 火災時の特有危険有害性： 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
熱で容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

適切な保護手袋と保護眼鏡を付けて処理する。漏えい物をペーパータオル等で拭き取って、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 十分な換気ができる場所で取扱う。

安全取扱い注意事項： 換気の良い場所で取扱うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

皮膚への接触、吸入又は飲み込んではいない。

眼の中又は衣類に付けないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、2～8℃に保存する。

保存時には凍結しないように注意する。

技術的対策： 特になし。

混触禁止物質： 「10. 安定性及び反応性」参照

安全な容器包装材料： 特になし。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所の近くに洗眼器と手洗い設備を設置する。

管理濃度

過酸化水素： 設定されていない。

アジ化ナトリウム： 設定されていない。

許容濃度

過酸化水素

日本産業衛生学会（2013年度版）： 設定されていない。

ACGIH（2013年度版）： TLV-TWA 1 ppm

アジ化ナトリウム

日本産業衛生学会（2009年度版）： 設定されていない。

ACGIH（2009年度版）： TLV-STEL (C)

0.29ppm(アジ化ナトリウムとして)

0.11ppm(アジ化水素水蒸気として)

保護具

呼吸器の保護具： 防じんマスク、簡易防じんマスク

手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。

眼及び/又は顔面の保護具： 適切な保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

	「内因性ペルオキシダーゼ 不活化液A」	「内因性ペルオキシダーゼ 不活化液B」
物理状態	液体	液体
色	無色透明	無色透明
臭い	データなし	データなし
融点／凝固点	データなし	データなし
沸点又は、初留点及び 沸騰範囲	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上 限界/可燃限界	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし
pH	データなし	データなし
動粘性率	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし
n-オクタノール／水 分配係数(log 数値)	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし
密度及び/又は相対密 度	データなし	データなし
相対ガス密度	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし

	「酵素標識抗体液」	「発色剤」	「基質液」
物理状態	液体	凍結乾燥品	液体
色	無色透明または淡褐色 透明	白色	無色透明
臭い	データなし	データなし	データなし
融点／凝固点	データなし	データなし	データなし
沸点又は、初留点及び 沸騰範囲	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上 限界/可燃限界	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	データなし	データなし	データなし
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	データなし
n-オクタノール／水 分配係数(log 数値)	データなし	データなし	データなし

蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし	データなし	データなし
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし

	「カウンター染色液」	「封入液」	「洗浄用緩衝液用剤」
物理状態	液体	液体	固体
色	濃紫色	無色透明	白色
臭い	データなし	データなし	データなし
融点/凝固点	データなし	データなし	データなし
沸点又は、初留点及び沸騰範囲	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	データなし	データなし	データなし
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	データなし
n-オクタノール/水分分配係数(log 数値)	データなし	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし	データなし	データなし
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液A」

安定性： 通常の使用であれば安定と考えられる。

危険有害反応可能性： 情報なし

ただし本試薬に含まれる過酸化水素は、強力な酸化剤である。

避けるべき条件： 情報なし

混触危険物質： アンモニア、炭素、金属。酸化剤

危険有害な分解生成物： 情報なし

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液B」

安定性： 通常の使用であれば安定と考えられる。

危険有害反応可能性： 情報なし

ただし本試薬に含まれるアジ化ナトリウムは、銅、鉛、銀、水銀、二硫化水素と反応し、特に衝撃に敏感な化合物を生成する。酸と反応し、有毒で爆発性のアジ化水素を生成する。

避けるべき条件： 情報なし
 混触危険物質： 情報なし
 危険有害な分解生成物： 情報なし

1 1. 有害性情報

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液A」

(成分(危険有害物質): 過酸化水素)

急性毒性:

経口 70%溶液のLD₅₀値が805 mg/kg (ラット)である過酸化水素が30%含まれるため区分4とした。

飲み込むと有害(区分4)

経皮 90%溶液のLD₅₀値が690 mg/kg (ウサギ)である過酸化水素が30%含まれるため区分4とした。

皮膚に接触すると有害(区分4)

吸入(蒸気) LD₅₀値が2,000 mg/m³ (ラット)である過酸化水素が30%含まれるため区分3とした。

吸入すると有毒(区分3)

吸入(粉塵およびミスト) 換算値0.46-1.00 mg/L 4時間(マウス)である過酸化水素が30%含まれるため区分4とした。

吸入すると有害(区分4)

皮膚腐食性/刺激性: 区分1である過酸化水素が30%含まれるため区分1とした。
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1である過酸化水素が30%含まれるため区分1とした。重篤な眼の損傷が適用されるが、皮膚腐食性/刺激性の重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷も記載されるため危険有害性情報は省略される。

呼吸器感作性又は皮膚感作性: 情報がなく分類できない。

生殖細胞変異原性: 区分に該当しない。

発がん性: 区分2である過酸化水素が30%含まれるため区分2とした。
 発がんのおそれの疑い(区分2)

生殖毒性: 情報がなく分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分1(呼吸器)である過酸化水素が30%含まれるため区分1とした。

呼吸器の障害(区分1)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分1(呼吸器)である過酸化水素が30%含まれるため区分1とした。

長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器の障害(区分1)

誤えん有害性: 情報がなく分類できない。

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液B」

(成分(危険有害物質): アジ化ナトリウム)

急性毒性:

経口 ラット LD₅₀ 27mg/kg (RTECS)であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分3とした。

飲み込むと有毒(区分3)

経皮	ウサギ LD ₅₀ 20mg/kg (RTECS)であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分2とした。 皮膚に接触すると生命に危険 (区分2)
吸入	ラット LC ₅₀ 0.054-0.52mg/l (RTECS)であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分3とした。 吸入すると有毒 (区分3)
皮膚腐食性/刺激性:	区分1であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分1とした。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 (区分1)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分1であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分1とした。重篤な眼の損傷が適用されるが、皮膚腐食性/刺激性の重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷も記載されるため危険有害性情報は省略される。
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性:	情報がなく分類できない。
発がん性:	情報がなく分類できない。
生殖毒性:	情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露):	区分1 (心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性)であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分1とした。 心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性の障害 (区分1)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露):	区分1 (中枢神経系、心血管系、肺)であるアジ化ナトリウムが15%含まれるため区分1とした。 長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系、心血管系、肺の障害 (区分1)
誤えん有害性:	情報がなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液A」

(成分 (危険有害物質): 過酸化水素)

生態毒性

水生環境有害性、短期 (急性): 甲殻類 (ミジンコ) の48時間 EC₅₀=2.4 mg/Lである過酸化水素が30%含まれるため区分2とした。

水生生物に毒性 (区分2)

水生環境有害性、長期 (慢性): 区分に該当しない。

残留性・分解性: 情報なし

生物蓄積性: 情報なし

土壌中への移動性: 情報なし

オゾン層への有害性: 情報がなく分類できない。

「内因性ペルオキシダーゼ不活化液B」

(成分 (危険有害物質): アジ化ナトリウム)

生態毒性

水生環境有害性、短期 (急性): 藻類での96時間 ErC₅₀ = 0.35mg/l (OECD 試験ガイドライン 201)のアジ化ナトリウムの含有濃度が15%であるため区分2とした。水生生物に毒性が適用されるが、慢性の危険有害性情報も記載されるため区分2の急性の危険有害性情報は省

略される。

水生環境有害性、長期（慢性）：藻類での96時間ErC50 = 0.35mg/l（OECD 試験ガイドライン 201）のアジ化ナトリウムの含有濃度が15%であり、急速分解性がないため区分2とした。

長期継続的影響により水生生物に毒性（区分2）

残留性・分解性： 情報なし
 生物蓄積性： 情報なし
 土壌中への移動性： 情報なし
 オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 本試薬中に含まれるアジ化ナトリウムは、鉛や銅と反応して爆発性のある重金属アジ化物を生成することがある。また、酸と反応し、有毒で爆発性のアジ化水素を生成することがある。廃棄の際は、アジ化物が生成されないよう大量の水で洗い流すこと。
 廃棄については関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装： 使用した汚染容器や残余の試薬を廃棄して水で十分洗浄した容器は、廃棄物処理法に関する規定に従って処理すること。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法： 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2）
 政令番号別表第9の126号（過酸化水素）
 本製品は体外診断用医薬品のため該当しない。

医薬品医療機器等法 政令番号別表第9の9号（アジ化ナトリウム）
 本製品は体外診断用医薬品のため該当しない。

劇薬 施行規則第204条別表第3—劇薬—無機薬品及びその製剤7（過酸化水素）本製品は劇薬である。

毒物及び劇物取締法： 毒物 指定令第1条第1号（アジ化ナトリウム）
 本製品は体外診断用医薬品のため該当しない。
 劇物 指定令第2条第19号（過酸化水素）
 本製品は体外診断用医薬品のため該当しない。

化学物質排出把握管理促進法： 第1種指定化学物質 施行令第1条別表第1
 政令番号第11号（アジ化ナトリウム）

1 6. その他の情報

主な引用文献

Sigma-Aldrich アジ化ナトリウム SDS 6.7 版
 富士フイルム和光純薬株式会社 過酸化水素（30%）085-04056 SDS 1.01 版
 職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)

https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

ECETOC JACC (1993)

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。